

## 2019 年度 入学 試験 問題

# 日本史 B

(試験時間 16:25~17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。

I つぎの文章(1~3)について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、マークすべきところはその記号を選んでマークしなさい。(40点)

1. 朝鮮半島より日本列島にやって来た渡来人は、より進んだ鉄器・の生産、機織り、土木工事などの技術を伝えた。彼らはヤマト政権から技術者集団として組織されたほか、文筆に優れた者は記録・事務等の仕事に従事した。中国の歴史書に目を向けると、たとえば『宋書』倭国伝に倭の五王が使者を派遣したことが記されているなど、ヤマト政権が中国皇帝とのつながりを求めたことがうかがえる。

その後、隋が中国を統一すると遣隋使が派遣され、隋が滅ぶと唐に遣唐使が派遣された。これらに同行した留学生や学問僧は、中国の制度・思想・文化などを学んで帰国し、日本の政治や社会に影響を与えた。また、朝鮮半島を統一した新羅とも交流したが、日本が新羅を従属国と扱おうとしたため、両国の関係は緊張することがあった。さらに、727年に使節を派遣してきたとも国交を開き、新羅との対抗関係から、友好的に通交した。

問1 空欄Aには、朝鮮半島から伝えられた製作技術でつくられた、灰色で硬質の土器の名称が入る。その名称を記しなさい。

問2 下線部①に関して、『論語』『千字文』を伝え、文筆・出納に従事し、西文氏の祖先と伝えられる人物名を記しなさい。

問3 下線部②に関して、倭王武が使者を派遣した際の史料（抜粋）として当てはまるものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。なお、史料は原文を書き下す等適宜修正している。

ア. 建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。

倭国の極南界なり。光武、賜ふに印綬を以てす。安帝の永初元年、倭の国王帥（帥）升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。

イ. 景初二年六月、倭の女王、大夫難升米等を遣し郡に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。（中略）その年十二月、詔書して倭の女王に報じて曰く、「（中略）今汝を以て親魏倭王と為し、金印紫綬を假し（中略）」と。

ウ. 百残・新羅は旧是れ属民なり。由来朝貢す。而るに倭、辛卯の年よりこのかた、海を渡りて百残を破り、新羅を□□し、以て臣民と為す。

エ. 順帝の昇明二年、使を遣して上表して曰く、「封国は偏遠にして、藩を外に作す。（中略）東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を服すること六十六国、渡りて海北を平ぐること九十五国（中略）」と。

オ. 大業三年、其の王多利思比孤、使を遣して朝貢す。（中略）其の国書に曰く「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云云」と。

問4 下線部③に関して、中国に渡った人物として当てはまらないものを、つぎのア～オから一人選び、その記号をマークしなさい。

ア. 吉備真備      イ. 行基      ウ. 玄昉      エ. 高向玄理

オ. 南淵請安

問5 下線部④に関して、日本の律令制度の説明として誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 中央官制には、神祇祭祀を司る神祇官と行政全般を管轄する太政官の二官があり、太政官のもとで八省が政務を分担した。

イ. 地方は畿内・七道に行政区分され、国・郡・里（のちに郷）が置かれた。国司は中央から派遣され、郡司には地方豪族が任じられた。

ウ. 兵役で徴発された兵士は諸国の軍団で訓練を受けた。一部は都の警備に当たる衛士となったり、九州防衛のための防人となった。

エ. 刑罰には笞・杖・徒・流・死の五刑があった。また天皇・国家・尊属などに対する罪は八虐という重罪とされた。

オ. 民衆は戸に編成され、6年ごとに作成される計帳に登録された。この計帳に基づいて6歳以上の男女に口分田が与えられた。

問6 空欄Bに入る国名を記しなさい。

2. 院政期、上皇（法皇）が政治の実権を握ると、院庁が出す院庁下文や、院の命令を伝える院宣<sup>a</sup>の重要性が高まり、上皇（法皇）のそばに仕える院近臣が台頭した。白河上皇によって設置された北面の武士<sup>b</sup>は院政の武力を支えた。また、このころ貴族などが一国の支配権や収益権を与えられる知行国<sup>c</sup>の制度が広まった。一方で、有力寺院の僧兵が朝廷に要求を認めさせようと強訴を行うことがあった。有名なのが興福寺<sup>d</sup>と園城寺<sup>e</sup>による強訴で、両寺院は南都北嶺と呼ばれる。

武士が政局を左右するようになるとその影響は院政にも及び、たとえば後白河法皇は対立した平清盛<sup>⑤</sup>によって武力で幽閉され、院政が停止されるに至った。さらに源頼朝<sup>⑥</sup>らと対峙するなど、後白河は武士の著しい台頭に直面した。また、後鳥羽上皇は、良好な関係にあった鎌倉幕府の将軍源実朝<sup>⑦</sup>が暗殺されると、幕府の実権を握っていた北条氏を打倒しようと兵を挙げたが、幕府の軍勢に敗れ隠岐に流された。これにより院権力は大きな打撃を受け、幕府が優位に立つこととなった。

鎌倉幕府の支持を得て即位した後嵯峨天皇は、後深草天皇に譲位して院政を開始し、院評定衆を設けるなど、朝廷の政治を主導していった。後嵯峨の皇子の一人が、幕府に将軍として迎えられた  親王である。朝廷に対する幕府の影響力は皇位継承にも及び、持明院統と大覚寺統が皇位をめぐる争うようになると、幕府は2つの皇統が交互に皇位に就くという方式を示しこれを調停した。<sup>⑧</sup>

<sup>⑨</sup>

問7 波線部 a～e の中には誤りの箇所がある。つぎの A～E から正しく訂正しているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- A. 誤りは a で、正しくは繪旨。
- I. 誤りは b で、正しくは西面の武士。
- U. 誤りは c で、正しくは成功。
- E. 誤りは d で、正しくは法勝寺。
- O. 誤りは e で、正しくは延暦寺。

問8 下線部⑤に関して、平清盛一族の繁栄を示す史料（抜粋）として当てはまらないものを、つぎの A～E から一つ選び、その記号をマークしなさい。なお、史料は原文を書き下す等適宜修正している。

- A. 六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、花族も榮耀も面をむかへ肩をならぶる人なし。されば入道相国のこじうと平大納言時忠卿ののたまひけるは「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」とぞのたまひける。
- I. 吾身の榮花を極むるのみならず、一門共に繁昌して、嫡子重盛、内大臣の左大将、次男宗盛、中納言の右大将、三男知盛、三位中将、嫡孫維盛、四位少将、惣じて一門の公卿十六人、殿上人卅余人、(後略)
- U. 其外御娘八人おはしき。(中略) 一人は後にたたせ給ふ。王子御誕生ありて皇太子にたち、位につかせ給しかば、院号かうぶらせ給て建礼門院とぞ申ける。
- E. 今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり(前太政大臣の第三の娘なり。一家三后を立つること、未だ曾て有らず)。(中略)「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたることも無しと思へば」。
- O. 日本秋津嶋は纔に六十六箇国、平家知行の国卅余箇国、既に半国にこえたり。其外庄園田畠いくらといふ数を知らず。綺羅充滿して、堂上花の如し。軒騎群集して、門前市をなす。

問9 下線部⑥に関して、源頼朝に関わる説明として当てはまらないものを、つぎのA～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 1180年、富士川の戦いで平氏の軍勢を破った。
- イ. 1183年、平氏が都落ちした後、京都に入った。
- ウ. 1185年、朝廷より守護・地頭に関する承認を得た。
- エ. 1189年、東北地方に攻め入り、奥州藤原氏を滅ぼした。
- オ. 1190年、朝廷より権大納言・右近衛大将に任じられた。

問10 下線部⑦に関して、源実朝を暗殺した人物名を記しなさい。

問11 空欄Cに入る人物名を記しなさい。

問12 下線部⑧に関して、2つの皇統に関わる説明として正しいものを、つぎのA～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 持明院統は亀山天皇の子孫で、大覚寺統は後深草天皇の子孫である。
- イ. 持明院統の流れが南朝で、大覚寺統の流れが北朝である。
- ウ. 持明院統の経済基盤となったのが長講堂領で、大覚寺統の経済基盤となったのが八条院領である。
- エ. 後醍醐天皇は持明院統から即位した天皇である。
- オ. 足利尊氏に擁立された光明天皇は大覚寺統の出身である。

問13 下線部⑨に関して、このような皇位継承の方式を漢字4字で記しなさい。

3. 江戸幕府は初め海外貿易に積極的だった。徳川家康は、オランダ船リーフデ号の乗組員であるオランダ人ヤン＝ヨーステン（耶揚子）とイギリス人ウィリアム＝アダムズ（）を外交・貿易の顧問とし、オランダ・イギリスとの貿易を推進した。日本人の海外渡航に関しては、東南アジアへの渡航を許可された者が朱印状を与えられ、朱印船貿易が行われた。

しかし、1616年に中国船を除く外国船の寄港地をと長崎に制限したり、1633年には奉書船以外の日本船の海外渡航を禁止するなど、幕府は貿易の統制を強めていった。<sup>⑩</sup>その後、1635年に日本人の海外渡航と在外日本人の帰国が禁止となり、1639年にポルトガル船の来航が禁止された。

一方、江戸時代には国内の交通が整備され、産業の発達もあり流通が活発となった。<sup>⑪</sup>水運に注目すると、17世紀初め、京都の豪商は高瀬川・富士川などの河川交通を整備し、17世紀後半、河村瑞賢は東廻り航路（海運）・西廻り航路（海運）の整備に貢献した。水運は大量の物資を安価に運べる利点があり、各地の特産物や様々な商品の輸送に活用された。<sup>⑫</sup>

問14 空欄Dにはこの人物の日本名が入る。その姓名を記しなさい。

問15 下線部⑩に関して、主要な輸出品として当てはまるものを、つぎのA～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

A. 砂糖      I. 銀      U. 生糸      E. 俵物      O. 絹織物

問16 空欄Eに当てはまる地名を記しなさい。

問17 下線部⑪に関して、奉書船は、朱印状のほかに、江戸幕府のある役職に就いていた者が出した奉書を得て海外渡航を許可された船のことである。該当する幕府の役職名を記しなさい。

問18 下線部⑫に関して、江戸時代の農業の発達について説明した文として正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 幕府や諸藩による新田開発のほか、町人の資本による町人請負新田が開かれるようになった。

イ. 農具の改良が進み、深耕に適した備中鍬や脱穀用の千石籾、選別具の唐箕や千齒扱などが普及した。

ウ. 肥料としては、中世以来の油粕・メ粕のほか、干鰯・刈敷・草木灰などの金肥が利用されるようになった。

エ. 大蔵永常が著した『農業全書』が体系的農学書として普及し、農業の必読書とされた。

オ. 宮崎安貞が著した『広益国産考』は、商品作物の栽培と加工による農家の利益と国益を論じた書物である。

問19 空欄 F に当てはまる人物の姓名を記しなさい。

問20 下線部⑬に関して、特産物と地域の組み合わせとして誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 九谷焼—加賀      イ. 有田焼—肥前      ウ. 紅花—出羽

エ. 藍—阿波      オ. 輪島塗—越前



Ⅱ つぎの文章（A～D）中の空欄（a～h）に入れるのもっとも適切な人名を、正確な漢字で姓名を記しなさい。また、設問（①～⑦）については、もっとも適切なものをそれぞれ一つ選び、その記号をマークしなさい。（30点）

A. 開国後、江戸幕府では13代将軍（ a ）に子がいないために将軍継嗣問題が起こり、幕府内の対立が深刻化した。また1858年に幕府は、天皇の勅許を得ずに欧米列強との間に通商条約（安政の五カ国条約）に調印したことから、尊王攘夷派は幕府をはげしく非難した。

B. 明治六年の政変で辞職した征韓派参議らの中から、政府批判を行う者が現れた。元司法卿（ b ）は佐賀征韓党首領に擁立され、不平士族らと佐賀の乱を起こしたが、政府軍に敗れて処刑された。また西郷隆盛は、郷里の鹿児島で挙兵し、西南戦争がはじまった。一方、板垣退助・後藤象二郎らは民撰議院設立建白書を提出し、その後、自由民権運動を展開した。ただし、（ c ）は民撰議院設立建白書の提出には加わったが、自由民権運動からは距離を置き、後に第1次松方内閣の内務大臣に就任した。

C. 第1次大戦後の日本経済は不況が慢性化した。1920年の戦後恐慌に続き、1923年の関東大震災も日本経済に深刻な影響を及ぼした。さらに1927年3月から4月にかけて、東京渡辺銀行から台湾銀行、十五銀行などへと取付けと休業が広がった。この金融恐慌に際して（ d ）内閣は、日銀特別融資で台湾銀行を救済する緊急勅令案を策定したが、枢密院で否決されたため総辞職した。その2年後、アメリカ・ウォール街での株価急落に端を発する世界恐慌が世界経済に深刻な打撃を与えた。こうした状況下の1930年1月、（ e ）内閣は金解禁を断行して貿易の振興をはかったが、かえって世界恐慌の影響が国内に及び、深刻な昭和恐慌に陥った。

D. 1936年に（ f ）内閣は日独防共協定を締結し、反共・反ソ連の立場で連携を深めた。翌年7月、盧溝橋事件を発端に日中両軍は全面戦争に突入し、同年末に日本軍は国民政府の首都南京を占領した。国民政府は漢口、さらに重慶に首都を移して交戦を続けたのに対して、日本側は1940年に（ g ）を首班とする新たな国民政府を南京に樹立させた。こうして日中戦争が長期化、泥沼化していく中で、日本国内では戦時体制が強化された一方、軍部は張鼓峰事件、ノモンハン事件、仏印進駐など軍事作戦を拡大させていった。外交面では日独伊三国同盟に至るドイツ・イタリアとの連携を強化していったが、ドイツがソ連との間に不可侵条約を締結した際、（ h ）内閣は「欧州の天地は複雑怪奇」との文言を含む声明を残して辞職した。

〔設問〕

①Aに関して、将軍継嗣問題で、次期将軍に徳川慶喜を推したのは誰か。

- ア. 松平慶永
- イ. 水野忠央
- ウ. 九条尚忠
- エ. 井伊直弼
- オ. 松平容保

②Aに関する説明として誤っている文はどれか。

- ア. この時、将軍継嗣となれなかった徳川慶喜は、後に15代将軍となって大政奉還を行ったが、明治維新後も大正時代まで存命した。
- イ. 日米修好通商条約では輸入品にかかる関税の税率の決定権を失ったが、これは外国製品の輸入拡大に対して国内産業の保護がはかりにくいことを意味した。
- ウ. 1858年中に通商条約（安政の五カ国条約）を結んだ相手国は、アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・ドイツである。
- エ. 日米修好通商条約の締結後、幕府では外国奉行が新設され、岩瀬忠震らがこの職に任じられた。
- オ. 日米修好通商条約で開港場と定められた新潟の開港は、明治初年となった。

③Bに関して、下記の出来事 a～e について、古いものから年代順に正しく配列されたものを、下のア～オのうちから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 立憲改進黨の結成
- b. 民撰議院設立建白書の提出
- c. 自由党の結成
- d. 西南戦争
- e. 敬神党（神風連）の乱

ア. e → d → b → c → a

イ. e → d → b → a → c

ウ. e → d → c → b → a

エ. b → e → d → c → a

オ. b → e → d → a → c

④Bに関する説明として正しい文はどれか。

ア. 元参議の前原一誠は福岡県で、不平士族たちを率いて秋月の乱を起こした。

イ. 1880年3月に国会期成同盟が天皇宛てに国会開設の請願書を提出し、これを受理した政府は翌年に国会開設の勅諭を出した。

ウ. 西南戦争の翌年に府県会規則が制定され、府県会議員の選出にあたり、一定額以上の地租納入を条件に男子の選挙権・被選挙権が認められた。

エ. 自由民権運動の指導者であった板垣退助は、1882年4月に岐阜での演説終了後に刺客に襲われて負傷し、翌年死去した。

オ. 1882年末、会津三方道路建設の強行に反対し、県会議長の河野広中、県議の大井憲太郎ら福島自由党員が反対運動を展開する福島事件が発生した。

⑤Cに関する説明として誤っている文はどれか。

ア. 第1次大戦期には日本からの工業製品輸出が拡大したが、大戦終結後に欧州産業が復興する中、競争力の低い日本産業の輸出が減退し、過剰生産に陥った。

イ. 不況下で労働者・農民の困窮が広がる中、労働運動・農民運動が高揚したが、1928年の普通選挙制による選挙でも無産政党は議席を獲得できなかった。

- ウ. 当時の日本の貿易ではアメリカ向け生糸輸出の比重が大きく、世界恐慌に伴う輸出減少は、製糸業とともに繭価暴落を通じて農家にも深刻な打撃を与えた。
- エ. 昭和恐慌に加えて1931年の大凶作の影響により、東北地方を中心に農村の困窮が深刻化し、欠食児童や娘の身売りが社会問題となった。
- オ. 1931年の金輸出再禁止に伴い、為替相場は円安方向に大幅に変動したため、輸出拡大によって日本の景気は回復した。

⑥Dに関する説明として正しい文はどれか。

- ア. 日中戦争が始まるとドイツは同盟国である日本を積極的に支援し、武器援助や軍事顧問団の派遣を行った。
- イ. 軍部が発言権を増す中、陸軍内では統制派と皇道派が対立していたが、二・二六事件後は統制派が主導権を握った。
- ウ. 盧溝橋事件の後、一旦は停戦協定が成立したが、現地の支那駐屯軍は政府の不拡大方針を無視して進撃したため、政府はやむなく国民政府に宣戦布告した。
- エ. 日中戦争中に発生した二・二六事件は、「昭和維新」を唱える陸軍の青年将校たちによるクーデタで、高橋是清大蔵大臣らが犠牲となった。
- オ. 日本軍の進撃に対して中国側では、それまで対立を続けていた国民党と共産党が抗日を掲げて提携する第1次国共合作が成立した。

⑦Dに関して、ノモンハン事件の発生から停戦協定締結までの間に起こった出来事ではないものはどれか。

- ア. 第二次世界大戦の勃発
- イ. 阿部信行内閣の成立
- ウ. 国民徴用令の公布
- エ. 国家総動員法の制定
- オ. 独ソ不可侵条約の締結

Ⅲ つぎの文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、マークすべきところは一つ選んで、その記号をマークしなさい。なお、人名を記入する場合には姓名を記入すること。(30点)

太平洋戦争後の日本経済は、1950年に勃発した朝鮮戦争をきっかけに、アメリカ軍による膨大な特需が発生したことで活気を取り戻し、1955年頃から高度経済成長<sup>①</sup>を迎えた。1960年に成立した( A )内閣は「所得倍増」を打ち出し、経済活動に不可欠な社会資本の充実、大型公共投資、貿易や資本の自由化などを促進し、先進工業国として世界経済に加わることを目指した。<sup>②</sup>この時期、日本企業は、政府の政策的支援のもと積極的な設備投資を行い、外国からの生産技術の導入や技術革新を図ることで、生産性の向上をすすめていった。<sup>③</sup>こうした先進技術は、生産管理だけでなく品質管理や労務管理にも波及するとともに、流通・販売の分野にも及んだ。そして、日本の状況に合わせた独自の改良がほどこされ、「日本的経営」と呼ばれる日本独自の経営方式が確立していった。<sup>④</sup>

高度経済成長期には、国民の消費生活にも大きな変化が生じ、自動車や電気製品などの普及率が上昇した。小売業界ではスーパーマーケットが成長し、1972年にダイエー<sup>⑤</sup>が老舗百貨店の三越を抜いて売上高で第1位となった。日本経済は1955年頃から1973年頃にかけて年平均10%前後の経済成長を遂げ、1968年には資本主義諸国の中で世界第2位の国民総生産(GNP)を達成した。

このような高度経済成長を遂げる一方で、大都市における騒音や振動、大気汚染や水質汚濁による公害病など、深刻な社会問題も生じた。全国各地で公害反対や環境保全を求める住民運動が広がり、公害訴訟もたびたび起こされた。<sup>⑥</sup>これに対して政府は、1967年、事業者や国・地方自治体の責任を明らかにするとともに、大気汚染や水質汚濁などの公害を規制する( B )を制定し、1971年には( C )を発足させた。このような高度経済成長のひずみや住民運動の活発化は、大都市における革新自治体の成立につながった。1967年に日本社会党や日本共産党が推薦する( D )が東京都知事に当選すると、京都府や大阪府でも革新系の知事が誕生した。

太平洋戦争後や高度経済成長期は、学問や文化においても新しい分野が生まれるなどの変化があった。例えば、太平洋戦争後には、自然科学の分野で湯川秀樹が1949

年に日本人ではじめてノーベル物理学賞を受賞し、国民を大きく励ました。そして、同年、学問の自由独立と平和的で民主的な活用を推進する学界の代表機関である（ E ）が設立された。また、文学では、連合軍の占領下におかれたとはいえ表現の自由は増大し、その中で、戦後の世相を反映した太宰治や坂口安吾の作品、自身の戦争体験をもとにした大岡昇平や野間宏の作品が発表された。高度経済成長期には科学技術の発達が進み、量子力学を研究して超多時間理論を完成させた（ F ）が、日本人として二人目となるノーベル物理学賞を1965年に受賞した。また、この時代にはマスメディアが発達し、文化が大衆化していった。1953年に開始されたテレビ放送は、1970年代にはほとんどの家庭に普及し、大衆文化に大きな影響を与えた。新聞・雑誌・書籍などの出版部数も増加し、社会派推理小説、歴史小説、漫画週刊誌などが広く読まれるようになった。

問1 下線部①に関して、日本の高度経済成長期の記述として適切ではないものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 金属・機械・化学などの重化学工業の生産額が増大し、1960年代には日本の全工業生産額の半分以上を占めるに至った。
- イ. 中東からの安い原油供給により、石炭から石油へのエネルギー転換が進んだ。
- ウ. 第二次産業・第三次産業が発展したものの、依然として第一次産業の比率が全体の50%を占める就業構造で推移した。
- エ. 農業生産力の向上、米価の政策的な引き上げ、農外所得の増加などにより、農家の所得が増大した。
- オ. 専業農家が減少するとともに兼業農家が増加するなど、農業人口の構造が変化した。

問2 空欄Aに当てはまる人名を記しなさい。

問3 下線部②に関して、日本が1964年に加盟した、自由主義諸国の発展途上国の援助や開発を促進するための機関として正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. GATT

イ. OECD

ウ. IMF

エ. APEC

オ. WTO

問4 下線部③に関して、1955年に設立された、企業の生産性向上運動を推進する中心機関の名称を記しなさい。

問5 下線部④に関して、日本的経営の特徴として最も適当でないものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 労使協調主義

イ. 終身雇用制

ウ. 株主配当重視

エ. 年功序列賃金制

オ. 法人資本主義

問6 下線部⑤に関して、ダイエーの創業者の人名を記しなさい。

問7 下線部⑥に関して、1971年から1973年にかけていずれも原告側が勝訴した四大公害訴訟の組み合わせとして正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 足尾銅山鉍毒, 日立鉍山煙害, 大阪空港航空機騒音, 別子銅山亜硫酸ガス
- イ. 四日市ぜんそく, 別子銅山亜硫酸ガス, 水俣病, 日立鉍山煙害
- ウ. イタイイタイ病, 四日市ぜんそく, 新潟水俣病, 水俣病
- エ. 名古屋新幹線騒音, 大阪空港航空機騒音, 豊島産業廃棄物投棄, 田子浦港へどろ
- オ. 新潟水俣病, 足尾銅山鉍毒, イタイイタイ病, 名古屋新幹線騒音

問8 空欄Bに当てはまる制定法の名称を記しなさい。

問9 空欄Cに当てはまる省庁の名称を記しなさい。

問10 空欄Dに当てはまる人名を記しなさい。

問11 空欄Eに当てはまる機関の名称を記しなさい。

問12 下線部⑦に関して、太宰治と坂口安吾の作品の組み合わせとして正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 太宰治：『白痴』                      坂口安吾：『墮落論』
- イ. 太宰治：『黒い雨』                  坂口安吾：『津軽』
- ウ. 太宰治：『人間失格』               坂口安吾：『太陽の季節』
- エ. 太宰治：『墮落論』                  坂口安吾：『斜陽』
- オ. 太宰治：『斜陽』                    坂口安吾：『白痴』



問13 下線部⑧に関して、大岡昇平と野間宏の作品の組み合わせとして正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| ア. 大岡昇平：『原爆詩集』  | 野間宏：『細雪』    |
| イ. 大岡昇平：『真空地帯』  | 野間宏：『レイテ戦記』 |
| ウ. 大岡昇平：『レイテ戦記』 | 野間宏：『俘虜記』   |
| エ. 大岡昇平：『俘虜記』   | 野間宏：『真空地帯』  |
| オ. 大岡昇平：『細雪』    | 野間宏：『原爆詩集』  |

問14 空欄 F に当てはまる人名として適当なものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 朝永振一郎
- イ. 江崎玲於奈
- ウ. 福井謙一
- エ. 利根川進
- オ. 白川英樹

問15 下線部⑨に関して、朝日新聞社社員時代に芥川賞を受賞するとともに、1957年に出版された『点と線』を著した人名を記しなさい。